

研究所だより

第361号
2016年5月17日
発行：土佐清水市教育研究所
TEL 82-3016

～新緑がまぶしい季節となりました！～

暦の上では「立夏」が過ぎ、庭先や築山のさつきもきれいに咲いています。野山の新緑も目立ち始め、少しずつ夏を感じさせてくる頃となりました。

各校では校長先生のリーダーシップのもと、学校目標・研究主題の具現化に向けてチーム学校で取り組んでいることと思います。また、春運動会実施の学校では、目標を明確にし、時間を有効に活用しながら取り組んでいるようです。練習に取り組む子どもたちの歓声がセンターまで聞こえてきます。

研究協力校及び研究グループ

この1年間、清水の教育の発展・向上のために研究協力校及び研究員（グループ）を委嘱し、校内研究テーマとは別のテーマ設定での研究をしていただきます。研究の取り組み概要、成果、課題につきましては研究集録『清水の教育』に掲載します。

【研究協力校】

<下ノ加江小学校>－研究主任：福留 未佐 校長：山崎 修二

1, 研究テーマ

「主体的に学び活動する授業づくり」

重点目標

具現化の視点：人として自立できる基礎学力の育成・主体的学び

- ・授業づくり…心で聴き、考えを発表し、探求する授業
- ・学力づくり…自学する力、学ぶ意欲
- ・集団づくり…支え合い、協力し高まる集団

2, 研究の概要

①授業改善に向けた研究

- ・授業のスタンダードづくり（問題解決な学習）
- ・複式授業のスタンダードづくり（複式学級の特徴を生かした授業形態の工夫）

②防災教育の推進

- ・総合的な学習を中心とし、主体的に活動する防災授業の推進
- ・自ら判断し主体的に行動できる児童の育成
- ・防災学習に関する教材・指導法の工夫改善

③基礎学力の定着と学力の向上

- ・児童の学習状況の把握と学力向上対策の構築
- ・個に応じた指導の在り方の研究
- ・家庭学習の定着と充実
- ・言語活動能力育成のための読書活動の推進

④読書活動の充実

⑤仲間づくり活動の推進

⑥その他

3, その他

I 防災学習

- 期日：平成28年6月、10月（予定）
- 講師 大木 聖子 慶應義塾大学准教授

II 研究授業

- 期日：調整中
- 講師：高知大学附属小 藤田 究教頭、田中 元康教務主任

<中浜小学校>－研究主任：永橋 貴恵 校長：坂本 恭美子

1, 研究テーマ

自己を鍛え学び合う力を育てる
～対話の生まれる道徳の授業づくりを通して～

2, 研究の概要

「自己を鍛え」とは、夢や志を貫くためにも日々の学習で力をつけていくために、自分のために学ぶという自覚と態度を育てる教育活動を推進することであり自己肯定感の礎となる。

「学び合う力」とは、多様な資料や様々な人との関わりを通して、自分と異なる考え・価値を知り、比較しながらより良い考え・価値を導き出し自己変容に高めることである。

「対話の生まれる」とは、学び合う関係を築き、課題に対してみんなで積極的に解決しようと意見を出してまとめていく姿を目指す。

（1）研究の目的

本研究では対話の生まれる道徳の授業において、自己決定し自己の変容を自覚することで学び合いの学習形態の有効性を検証し、授業改善につなげ学力の向上を目指す。

（2）研究仮説

①授業の導入の工夫、課題設定の工夫をすれば、意欲的に考え表現する児童が育つであろう。

②自分の意見の根拠や理由を明らかにしながら話し合いを行い、学び合いのある対話型の授業を行えば、学び合う中で児童の思考力・表現力が高まっていくであろう。

（トーク：教師3割・児童7割）

（3）研究の視点

①自分の考えをもつための資料や導入の工夫

②多様な考えから自己の考えを深めるための指導・評価の工夫

③道徳的実践力を育成するための、他の教育活動と道徳の関係

3, その他

【研究計画】

- 提案授業 ① 6月 8日 全校道徳 ② 6月 15日 3,4年道徳
- ③ 6月 29日 5,6年道徳 ④ 10月 19日 全校道徳
- ⑤ 10月 26日 3,4年道徳 ⑥ 11月 16日 5,6年道徳

□校内研（指導案検討）① 5月 25日 ② 6月 8日 ③ 6月 22日 ④ 10月 12日

* 8月校内研で幡多道徳教育研究会の指導案検討会を実施

□研究発表会 幡多道徳教育研究会（12月9日）

□研究のまとめ *研究レポート作成

<清水中学校> 研究主任：山崎 泉 校長：岡崎 哲也

1, 研究テーマ

研究主題： 『確かな学力を育むための指導工夫改善』
～他者と協働する力の育成に重点を置いて～

研究仮説

学び合い関わり合う必然性のある学習課題を位置付けることで、生徒の主体性が育成され、思考力・判断力・表現力が身に付くことにより個々の学力が向上するであろう。

2, 研究の概要

(1) 各教科における主体的・協働的に学ぶ探求的な授業づくり

- ①課題解決的な学習＋言語活動の充実
- ②図書館資料や新聞を活用した授業＋言語活動の充実
 - 講師招聘
 - 研究授業の実施
 - 教科部会による教材研究
 - 三原村・大月町との教科ネットワークの推進
 - 他校の発表会等へ参加・研修

(2) 探求のプロセスを通じて資質・能力を育てる総合的な学習の時間の研究

- ①各教科との関連を生かたカリキュラムの作成
- ②地域との連携や外部人材の活用を図った教材開発
 - 学年部会・領域部会による総合的な学習の時間の研究
 - カリキュラム検討会を受けての年間計画の見直し

3, その他

研究推進組織

- I 教科部会 各教科
- II 研究3部会 以下を基本として、人数の偏りがないようにする。
 - キャリア教育 ・生徒会担当・進路指導主事・体育主任・音楽主任・国語担当
 - 学 び ・美術担当・生徒会専門部は ☆執行部☆代議員会☆放送部
 - 生徒支援 ・研究主任・探求担当・数学担当・国語担当・英語担当
 - ・技術家庭科担当・社会担当・理科担当
 - ・生徒指導主事・養護教諭・人権教育主任・道徳推進教諭
 - ・特支CN・生徒会専門部は ☆保健環境部☆生活交通部

【研究グループ】

<土佐清水市特別支援教育研究会> 会長：中浜小学校 坂本 恭美子

1, 研究テーマ

特別支援が必要な児童・生徒が交流学習を通して互いに連携と親睦を図ることで社会性を身につけさせ、自立への意欲を育てる。

2, 研究の概要

- 4月 8日(金) 第1回研修会【組織作り、年間計画】
- 5月 12日(木) 第2回研修会【第1回交流会(親子交歓会)の計画、実践交流会】
- 6月 16日(木) 第1回交流会(親子交歓会)【足摺海洋館・三崎小】10:30～15:30
*ゲームと水族館で餌やり体験

8月 18日(木) 第3回研修会【第2回交流会の計画、実践交流会】

11月 1日(火) 第2回交流会【大月町コーラルフルーツ】10:30～14:00
*バーベキュー 宝探し

11月 22日(火) 第4回研修会【「大地」仮綴じ、実践交流会】

12月 13日(火) 第5回研修会【第3回交流会の計画、実践交流会】

1月 17日(火) 第3回交流会【社会福祉センター】10:00～14:30
*カレー作り ゲーム交流

2月 23日(木) 第6回研修会【市の文集「つばき」製本作業、年間総括】

3, その他

- 会長 坂本 恭美子(中浜小学校)
- 副会長 筒井 広実(清水小学校)
- 事務局 野村 紀文(中浜小学校)
- 会計 小川 登美夫(清水小学校)
- 監査 杉本 順(三崎小学校)
- 理事 山崎 泉(清水中学校)

【活動の役割分担】

- ①文集「つばき」表紙担当：幡陽小
- ②幡多郡文集「大地」中表紙：清水小
- ③その他の役割分担

*幡多郡通信「かがやき」原稿：清水中

*清水の教育原稿(活動報告・指導案)：中浜小



「算数・数学部会」

市教研 各部会研究テーマ、研修計画

国語部会	『語彙を増やす指導の手立て探る』		
稲野 仁子	8月 5日	教材研究	
(5名)	11月 9日	提案授業	
	1月19日	年間総括	

社会科部会	『社会科の指導法の研究ーフィールドワーク・地域教材を活用てー』		
杉本 順	8月 5日	フィールドワーク(ジオパーク学習)	
(8名)	11月 9日	研究授業(幡陽小：宮村 明彦)	
	1月 日	年間総括	

算数・数学部会	『楽しくわかる算数・数学の授業を目指して ～豊かな言語活動を通して～』		
吉本 砂紀			
(11名)	5月19日	研究授業(清水中1年 吉岡 慧)	
	8月 5日	講話(小中連携他) 教材検討	
	11月 9日	研究授業(清水小5年：岩井 圭)	
	1月17日	年間総括	

理科部会	『わかる楽しい授業づくり』		
矢野川 清	8月 5日	フィールドワーク(ジオパーク副読本作成のため)	
(6名)	11月 9日	研究授業(清水中：沼瀬 直哉、今城 隆)	
		問題提起 木村さん「非常時における電源確保について」	
	1月20日	年間総括 ジオパークの話	

音楽部会	『一人ひとりが生きる音楽の授業をめざして』
和田 祐二 (4名)	8月 5日 琴の講習(実技指導) 11月 9日 公開授業(清水小:小花 真里) 1月 日 年間総括

図工部会	『豊かな発想で想像する力を育てる』
尾崎 浩史 (9名)	8月 5日 一版多色版画の技法についての教材研究及び 指案づくり 11月 9日 研究授業(三崎小:中川 真理) 1月24日 年間総括

家庭科部会	『命と暮らしを守る家庭科教育』
助村 紗恵 (4名)	月 日 実技講習(パッチワーク) 8月 5日 指導案検討、簡単なおやつ作り 11月 9日 研究授業(清水小6年:助村 紗恵) 1月17日 年間総括

体育部会	『～関わり合い、運動好きな子どもを育てる～ 自主性を活かし、個を伸ばす体育指導』
今津 好智 (7名)	8月 5日 指導案検討、教材研究、実研修(スナッグゴルフ) 11月 9日 研究授業(清水中:山本 博之) 1月 日 年間総括

外国語部会	『みんなが意欲的に取り組む授業づくり』 ～積極的に英語を使う授業の創造～ 一小中高の連携～
浦田 国宏 (5名)	6月 清水高校の授業参観(小中高連携教育) 7月12日、14日 清水小への出前授業(小中高連携教育) 8月 5日 ALTとの連携授業(教材開発) 11月 9日 半日教研 研究授業(清水中:浦田 国宏) 1月 日 総括教研、「清水の教育」原稿づくり

養護部会	『地域に根ざした健康教育 小児生活習慣病について』
秋田 敏恵 (7名)	6月 6日 小児生活習慣病についての資料収集・情報交換 8月 5日 小児生活習慣病についての教材検討・情報交換 10月14日 小児生活習慣病についての教材づくり・情報交換 11月 9日 小児生活習慣病についての教材づくり・情報交換 1月19日 清水の教育原稿検討・総括(成果と課題)) 2月21日 役員確認・情報交換

事務部会	『「学校事務をふかめる」 ～組織の一員としてできる 学校事務を考える～』
吉本 富美子 (9名)	6月 行事予定一覧表作成 8月 5日 学校財務について 市教委への要望(検討)等 11月 9日 学校財務について 市教委への要望(まとめ)等 1月 総括教研

人権教育部会	『差別の現実から深く学び、どう自分の課題として 教育活動に生かしていくか』
溝渕 紀仁 (9名)	8月 5日 講師招聘しての学習会 「県民に身近な10の人権課題 新しい3つの課題を中心として」 11月 9日 研究授業(清水小:溝渕 紀仁) 1月19日 年間総括

教育相談部会	『人間関係を考える ー見る、聴く、つなぐー』
岡田 栄喜 (9名)	6月6~9,21~24日 学習会「SSWから見る子ども達の問題行動とその背景」 8月 5日 講師招聘「非行問題を心理面から考える」 窪内 児童心理司 11月 9日 講師招聘「育てにくい子ども達への効果的教育支援」西森指導主事 12月 日 年間総括 学習会

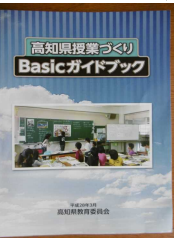
情報教育部会	『ICTを活用した授業と情報モラルの指導方法についての研究』
安田 政司 (7名)	8月 5日 「情報モラルの指導方法について」 講師招聘:青屋雄三先生(県警少年サポートセンター) 11月 9日 研究授業 (清水中:藤原 大生 「ICTを活用した授業」) 1月13日 年間総括

高知県授業づくりBasicガイドブック

皆さんこのガイドブックご存じですか?昨年度3月に県教委が各先生に配布した冊子です。もうすでに各自や校内研修等で活用していることと思います。

『平成19年には、学校教育法が一部改正され、第30条第2項では、「基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うこと」と示されました。また、次期学習指導要領改訂の視点は、資質・能力の確実な育成にあるとし、そのために、学びの質や深まりを重視することを指摘したうえで、「課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習(いわゆるアクティブ・ラーニング)」による授業改善を目指すとされています。県内のすべての教員が、付けるべき力を明確にした授業実践力の向上を図ることが必要です。

本冊子を日常的に活用することはもとより、校内研修や教科会等においても有効に活用することで、教員の学び合いが進み、全ての学校が「チーム学校」として、子どもに付けるべき力を学校の実態に応じて明確にし、子どもが主体的・協働的に学び合い、自ら考え、表現しながら学習を進める授業が展開されることを期待しています。』と述べています。(「はじめに」抜粋)



<購入図書等の紹介>

○特別支援の算数教材(中級編・上級編)<学研>

